

---

初級から上級までの一貫シリーズ Vol. 3

まな  
学ぼう！にほんご  
かん じ れん しゅう ちょう  
漢字練習帳

## 初中級

日本語教育の参照枠 B1 / JLPT N3 / 日本語NAT-TEST 3Q 対応

日本語教育教材開発委員会 編著

専門教育出版



# 目次

この本の使い方	6
<b>1章 性格・感情</b>	
Ⅰ 性格 性・格・優・静・悩・配	8
Ⅱ 感情① 笑・泣・悲・辛・苦・痛	10
Ⅲ 感情② 恋・愛・残・念・迷・信	12
Ⅳ 感情③ 感・満・欲・願・努・困	14
テスト1	16
<b>2章 人間関係</b>	
Ⅰ 人間関係① 関・係・礼・助・許・可	18
Ⅱ 人間関係② 断・謝・約・束・紹・介	20
Ⅲ 参加 連・絡・参・加・準・備	22
Ⅳ 敬語 敬・構・召・存・拝・御	24
テスト2	26
<b>3章 動作</b>	
Ⅰ 自然動作 活・呼・吸・座・寝・眠	28
Ⅱ 日常動作① 捨・拾・探・押・追・逃	30
Ⅲ 日常動作② 浴・破・消・折・包・掛	32
テスト3	34
<b>4章 生活Ⅰ</b>	
Ⅰ 遊び① 遊・暇・予・申・込・泊	36
Ⅱ 遊び② 絵・観・券・公・園	38
Ⅲ スポーツ① 球・投・打・取・当・倒	40
Ⅳ スポーツ② 練・勝・負・登・泳	42
テスト4	44
<b>5章 生活Ⅱ</b>	
Ⅰ 体 鼻・指・齒・毛・血・背	46

II 食①	塩・酒・油・卵・菓・杯	48
III 食②	湯・焼・氷・凍・蔵・庫	50
IV 住①	煙・灰・荷・紅・糸・靴	52
V 住②	具・箱・階・段・戸	54
VI 慣習	慣・婚・式・神・寺・祭	56
テスト5		58

## 6章 自然

I 季節	然・季・節・晴・雲・雪	60
II 宇宙	陽・星・宇・宙・震	62
III 自然①	植・草・葉・咲・石・馬	64
IV 自然②	島・港・湖・岸・波	66
テスト6		68

## 7章 交通

I 乗り物	船・飛・列・鉄・線・路	70
II 道路①	片・往・故・号・横・側	72
III 道路②	渡・越・向・曲・角・辺	74
テスト7		76

## 8章 社会

I 経済	経・済・税・収・支・央	78
II 働く①	職・勤・務・給・議・役	80
III 働く②	商・価・値・販・費・利	82
IV 働く③	農・畑・機・械・量	84
テスト8		86

## 9章 学校

I 学校①	育・徒・専・等・受・付	88
II 学校②	卒・留・欠・席・初・級	90
III 勉強①	調・覚・復・解・違・表	92
IV 勉強②	算・数・形・例・点・化	94
V 学科	科・第・課・各・順・位	96

VI 規則	板・机・宿・禁・規・則	98
テスト9		100
<b>10章 情報</b>		
I メディア①	情・報・雑・誌・記・刊	102
II メディア②	放・組・原・因・結・果	104
III メディア③	必・要・案・内・想・像	106
IV 比べる	比・似・逆・反・対・面	108
テスト10		110
<b>11章 様子</b>		
I 様子①	若・美・汚・速・良・普	112
II 様子②	難・簡・単・危・平・和	114
III 様子③	涼・暖・深・浅・黄・丸	116
IV 様子④	増・減・無・完・成・功	118
テスト11		120
<b>12章 人</b>		
I 家族	夫・妻・奥・供・娘・達	122
II 呼び方	彼・君・氏・様・師・官	124
テスト12		126
<b>13章 時・その他</b>		
I 時①	期・昨・晩・最・頃・久	128
II 時②	刻・秒・昔・未・現・在	130
III その他	過・他・丁・冊・枚・的	132
テスト13		134
<small>もぎ</small> 模擬試験1		136
<small>もぎ</small> 模擬試験2		138
<small>もぎ</small> 模擬試験3		140
<small>もぎ</small> 模擬試験4		142
さくいん		144

## この本の使い方

この本は「<sup>ほん</sup>学ぼう！<sup>まな</sup>にほんご」<sup>しよちゅうきゅう</sup>初中級の<sup>かん</sup>漢字<sup>れんしゅうちょう</sup>練習帳です。この本には、<sup>ほん</sup>初中<sup>しよちゅう</sup>級レベルで覚えた<sup>おぼ</sup>ほうが<sup>かん</sup>いい<sup>じ</sup>漢字（300字）がのっています。また、この<sup>かん</sup>漢字<sup>れんしゅうちょう</sup>練習帳を<sup>べんきょう</sup>勉強することで、『<sup>にほんご</sup>日本語能力試験』のN3 / 『<sup>にほんご</sup>日本語 NAT-TEST』の<sup>きゅう</sup>3級<sup>ごうかく</sup>に合格することを<sup>めざ</sup>目指しています。

各章の<sup>かくしやう</sup>左ページには、<sup>かん</sup>漢字、<sup>かくすう</sup>画数、<sup>れんしゅう</sup>漢字の読み方、<sup>ことば</sup>ことば、<sup>れんしゅう</sup>練習1があります。<sup>れんしゅう</sup>練習1は、<sup>ご</sup>語彙<sup>いたんい</sup>単位での<sup>よ</sup>漢字の読み方と<sup>れんしゅう</sup>書き方の<sup>れんしゅう</sup>練習問題です。各<sup>かん</sup>漢字の「<sup>ことば</sup>ことば」の例を見て、<sup>かくにん</sup>読み方と書き方をよく確認してください。

右ページには、<sup>れんしゅう</sup>左ページで出てきた<sup>れんしゅう</sup>漢字を使った<sup>れんしゅう</sup>練習問題があります。<sup>れんしゅう</sup>練習2は<sup>れんしゅう</sup>漢字の読み方の問題、<sup>れんしゅう</sup>練習3は<sup>れんしゅう</sup>漢字の書き方の問題です。<sup>れんしゅう</sup>練習2と3は、<sup>たんい</sup>文単位での問題ですので、<sup>ぶんしやう</sup>文章の中での<sup>ごい</sup>語彙の<sup>かくにん</sup>意味を確認しながら行ってください。

各章の<sup>かくしやう</sup>最後に<sup>さいご</sup>テストがあります。<sup>おぼ</sup>勉強した<sup>かん</sup>漢字を覚えたら、<sup>おぼ</sup>テストを<sup>かた</sup>してみてください。また、すべての<sup>しやう</sup>章の<sup>さいご</sup>最後に<sup>もぎ</sup>模擬試験<sup>つ</sup>が付いていますので、<sup>かつやう</sup>活用してください。

### <振り仮名のルール>

～「<sup>れんしゅう</sup>練習」と「<sup>ぶんしやう</sup>テスト」の問題と文章の中に出てくる<sup>かん</sup>漢字について～

『<sup>まな</sup>学ぼう！<sup>にほんご</sup>にほんご 漢字練習帳』の<sup>しよきゅう</sup>初級1と<sup>しよきゅう</sup>初級2で<sup>かん</sup>勉強した<sup>かん</sup>漢字には、<sup>ふ</sup>振り仮名<sup>がな</sup>を振っていません。ただし、<sup>きゅう</sup>2級以上の特別な<sup>ふ</sup>読み方<sup>がな</sup>には振り仮名を<sup>ふ</sup>振ってあります。

この本にのっている<sup>かん</sup>漢字で、<sup>ふ</sup>前のページまでに<sup>かん</sup>勉強していないものには、<sup>ふ</sup>振り仮名<sup>がな</sup>を振ってあります。また、<sup>ごい</sup>問題の中には、<sup>きゅう</sup>語彙レベルは<sup>ふ</sup>2級でも<sup>かん</sup>漢字の<sup>きゅう</sup>レベルは<sup>ふ</sup>2級ではないものが<sup>ふく</sup>含まれている場合があります。その際にも、<sup>さい</sup>振り仮名<sup>がな</sup>を振ってあります。

① 番号

4

かく 14画

静

セイ ジョウ  
しず しず-か  
しず-まる しず-める

③ 読み方

② 画数

静	静				
---	---	--	--	--	--

④ ことば

しず 静か  
しず 静まる\*  
れいせい 冷静-な\*  
あんせい 安静-な\*  
せいし 静止-する\*  
じょうみく 静脈\*  
しず 静める\*

### <ページの見方>

- ① 番号……そのページに出てくる<sup>じゆんばん</sup>順番
- ② 画数……漢字を書くとき、<sup>せん</sup>線を書く<sup>かず</sup>数
- ③ 読み方……漢字を読むときの読み方

漢字によっては、この本にのっていない読み方もあります。

「-」の後ろは、<sup>おく</sup>送り<sup>がな</sup>仮名（ひらがなで書くところ）です。

カタカナで書いてある読み方：<sup>おんよ</sup>音読み

ひらがなで書いてある読み方：<sup>くんよ</sup>訓読み

- ④ ことば……この漢字の<sup>れい</sup>ことばの例

「ことば」に出てくる漢字には、すべて<sup>ふ</sup>振り<sup>がな</sup>仮名<sup>ふ</sup>を振ってあります。

しるし「\*」がないもの ことばのレベルが<sup>きゆういか</sup>3級以下のもの

例) 静か

しるし「\*」があるもの ことばのレベルが<sup>きゆういじょう</sup>2級以上のもの

例) 安静-な\*

# 1章 性格・感情 | 性格

## 1 性 セイ ショウ

性性

女性 男性 女性的-な 男性的-な  
 …性 性格 性別 性質\* 酸性\*  
 性能\* 中性\* 理性\* 知性\* 無性に\*

## 2 格 カク コウ

格格

合格-する 価格 格好 性格 不合格  
 格別-な\* 本格的-な\* 格差\* 資格\*  
 人格\* 体格\* 格子\*

## 3 優 ユウ ヤス

優優

女優 優しい 優れる 俳優 優勝-する  
 優秀-な\* 優\* 優位\* 優越感\*  
 優先-する\*

## 4 静 セイ ジョウ

静静

静か 静まる\* 冷静-な\* 安静-な\*  
 静止-する\* 静脈\* 静める\*

## 5 悩 ノウ ナヤ

悩悩

悩む 悩み\* 苦悩-する\*  
 悩ます\* 悩ましい\*

## 6 配 ハイ くば

配配

配る 心配-する / な 配達-する 気配\*  
 支配-する\* 支配り-する\* 手配-する\*  
 配給-する\* 配分-する\*

### 練習1 漢字をひらがなで、ひらがなを漢字で書きましょう。

- ① 女性
- ② せいかく
- ③ 合格
- ④ 冷静な
- ⑤ 女優
- ⑥ しずか
- ⑦ やさしい
- ⑧ くばる
- ⑨ 性質

- ⑩ 配達
- ⑪ なやむ
- ⑫ 優勝する
- ⑬ 悩み
- ⑭ かつこう
- ⑮ 格別
- ⑯ せいべつ
- ⑰ しんぱいな
- ⑱ 価格

**練習 2** \_\_\_\_\_ のところをひらがなで書きましょう。

- ① 彼女はとても性格がいいので、みんなに好かれている。
- ② 今、進路について悩んでいる。
- ③ 希望の大学に合格するために勉強しています。
- ④ 静かなところに住みたい。
- ⑤ 佐藤さんはいろいろな資格を持っている。
- ⑥ 母は、いつも息子のことを心配している。
- ⑦ あのチームは去年の全国大会で優勝した。
- ⑧ この会社は男性より女性のほうが多い。  
A B
- ⑨ 私は新聞配達のアルバイトをやめました。
- ⑩ かつて、ローマ帝国は周りの国々を支配していた。
- ⑪ 彼は小さな時からとても優秀な子でした。
- ⑫ あの人は怒りのあまり、理性をなくしているようだ。

①	.....
②	.....
③	.....
④	.....
⑤	.....
⑥	.....
⑦	.....
⑧	.....
A	.....
B	.....
⑨	.....
⑩	.....
⑪	.....
⑫	.....

**練習 3** \_\_\_\_\_ のところを漢字で書きましょう。

- ① わが校では、子供のせいかくに応じた教育を行っている。
- ② 面接の結果が出ていないので、ごうかくか、ふごうかくか  
A B  
分からない。
- ③ 結婚するならやさしく明るい人がいいです。
- ④ 金曜日にたくさんの宿題がくばられた。
- ⑤ 最近、携帯電話のかかくが下がってきている。
- ⑥ すぐれた成績の人には奨学金が支給されます。
- ⑦ アンケートには、年齢とせいべつをお書きください。
- ⑧ 暖かい部屋で飲むビールはかくべつだ。
- ⑨ 彼女はとても美しくて、じょうのようだ。
- ⑩ けがをした友人がしんばいだ。
- ⑪ 裁判官にはれいせいな判断が必要とされる。
- ⑫ 一人でなやまないで、だれかに相談したほうがいいよ。

①	.....
②	.....
A	.....
B	.....
③	.....
④	.....
⑤	価
⑥	.....
⑦	.....
⑧	.....
⑨	.....
⑩	.....
⑪	.....
⑫	.....

1章 性格・感情 II 感情①

**1** 笑 ショウ  
わら-う  
え-む  
10画

笑笑

えがお わら ごえ わら わら え  
笑顔 笑い声 笑う 笑い\* ほほ笑む\*

びしょう  
微笑-する\* 苦笑い\*

**2** 泣 キュウ  
な-く  
8画

泣泣

な な ごえ かんきゆう ごうきゆう  
泣く 泣き声 感泣\* 号泣\*

**3** 悲 ヒ  
かな-しい  
かな-しむ  
12画

悲悲

かな かな かな ひげき ひめい  
悲しい 悲しむ 悲しみ\* 悲劇\* 悲鳴\*

ひかん ひさん  
悲観-する\* 悲惨-な\*

**4** 辛 シン  
から-い  
7画

辛辛

から からくち しおから かる  
辛い 辛口 塩辛い\* 辛うじて\*

しんぼう からし  
辛抱-する\* 辛子\*

**5** 苦 ク くる-しい  
くる-しむ くる-しめる  
8画

苦苦

くる くるう くる くる  
苦しい 苦勞-する 苦しみ 苦しむ

くる なが ながて くじょう  
苦しめる 苦い 苦手-な 苦情\*

くしん くつう くるう  
苦心-する\* 苦痛\* ご苦勞さま\*

**6** 痛 ツウ いた-い  
いた-む いた-める  
12画

痛痛

いた いた ずつう いた くつう  
痛い 痛む 頭痛 痛み\* 苦痛\*

つうかん つうせつ いた  
痛感する\* 痛切な\* 痛める\*

練習1 漢字をひらがなで、ひらがなを漢字で書きましょう。

- ① 泣く
- ② からい
- ③ いたい
- ④ 笑顔
- ⑤ 悲しむ
- ⑥ くるしい
- ⑦ 苦勞
- ⑧ 頭痛
- ⑨ かなしみ

- ⑩ くるしみ
- ⑪ 塩辛い
- ⑫ わらいごえ
- ⑬ くつう
- ⑭ なきごえ
- ⑮ 悲劇
- ⑯ わらう
- ⑰ ながい
- ⑱ 苦情

練習2 \_\_\_\_\_ のところをひらがなで書きましょう。

- ① 友達の話<sup>だち</sup>を聞いて、泣いたり笑ったりした。  
A B
- ② お昼に食べたカレーはとても辛かった。
- ③ 悲劇的な死だった。<sup>げき</sup>
- ④ ご苦労様。おかげで助<sup>たす</sup>かったよ。<sup>ろうさま</sup>
- ⑤ 先週からずっと頭が痛いです。
- ⑥ このお茶はとても苦い。
- ⑦ 悲しい事<sup>じ</sup>件<sup>けん</sup>が起きてしまった。
- ⑧ 赤ちゃんは生まれてすぐに、泣き声<sup>こゑ</sup>をあげる。
- ⑨ 苦情<sup>じやう</sup>が来ています。夜は静かにしてください。
- ⑩ あなたの笑顔<sup>えん</sup>は太陽<sup>たいやう</sup>みたいだ。
- ⑪ 塩を入れすぎて塩辛<sup>しん</sup>くなってしまった。<sup>しお</sup>
- ⑫ 大きな声で笑うと気持<sup>きもち</sup>ちがいい。

①	.....
A	.....
①	.....
B	.....
②	.....
③	.....
④	.....
⑤	.....
⑥	.....
⑦	.....
⑧	.....
⑨	.....
⑩	.....
⑪	.....
⑫	.....

練習3 \_\_\_\_\_ のところを漢字で書きましょう。

- ① マラソンの後は、息<sup>いき</sup>をするのがくるしい。
- ② となりの部<sup>へや</sup>屋<sup>や</sup>の人がうるさいので、くじやうを言いにいく。
- ③ 助<sup>たす</sup>けてあげられなくて、心<sup>こゝろ</sup>がいたむ。
- ④ ペットが亡<sup>な</sup>くなるのは、とてもかなしい。
- ⑤ となりの家から赤<sup>あか</sup>ん坊<sup>ぼう</sup>の元<sup>もと</sup>気<sup>き</sup>ななきごえが聞<sup>き</sup>こえてきた。
- ⑥ 久<sup>ひさ</sup>しぶりに涙<sup>なみだ</sup>が出るほどわらった。
- ⑦ まるでひげきの主人<sup>しゅじんこう</sup>公<sup>こう</sup>のような顔<sup>かほ</sup>をしている。
- ⑧ くしんして、作品<sup>しあ</sup>を仕<sup>し</sup>上げた。
- ⑨ 疲<sup>つか</sup>れてずつうがしてきた。
- ⑩ なきたいのをじつとがまんした。
- ⑪ 私は数<sup>すうがく</sup>学<sup>がく</sup>が一番<sup>いちばん</sup>にがてです。
- ⑫ 一人<sup>ひとり</sup>でくるしむことはない。

①	.....
②	..... 情
③	.....
④	.....
⑤	.....
⑥	.....
⑦	..... 劇
⑧	.....
⑨	.....
⑩	.....
⑪	.....
⑫	.....

1章 性格・感情 III 感情②

**1** 恋 レン  
 10画 こい こい-しい  
 こーう

恋 恋

こい こいびと しつれん  
 恋 恋人 失恋-する 恋する\*  
 はつこい れんあい  
 初恋\* 恋愛-する\* 恋しい\* 恋う\*

**2** 愛 アイ  
 13画

愛 愛

あい あいじょう あい れんあい あいそう  
 愛 愛情 愛する 恋愛-する\* 愛想\*  
 あいちやく あいどく あいよう  
 愛着\* 愛読-する\* 愛用-する\*

**3** 残 ザン  
 10画 のこ-る  
 のこ-す

残 残

ざんぎょう ざんねん のこ のこ ざんしよ  
 残業-する 残念-な 残る 残す 残暑\*  
 のこ  
 残らず\* 残り\*

**4** 念 ネン  
 8画

念 念

きねんび きねん ざんねん がいねん  
 記念日 記念-する 残念-な 概念\*  
 むねん  
 無念-な\*

**5** 迷 メイ  
 9画 まよ-う

迷 迷

まよ めいわく まいご めいしん  
 迷う 迷惑-する / な 迷子\* 迷信\*  
 めいる  
 迷路\*

**6** 信 シン  
 9画

信 信

じしん しんごう しん しんよう  
 自信 信号 信じる / ずる 信用-する  
 つうしん しんこう しんらい  
 通信-する 信仰-する\* 信頼-する\*  
 めいしん しんじや  
 迷信\* 信者\*

練習1 漢字をひらがなで、ひらがなを漢字で書きましょう。

- ① しんじる
- ② 恋
- ③ 迷信
- ④ のこる
- ⑤ あい
- ⑥ まよう
- ⑦ 愛情
- ⑧ ざんねんな
- ⑨ 迷惑する

- ⑩ こいびと
- ⑪ 残業する
- ⑫ 残す
- ⑬ しんようする
- ⑭ 信頼する
- ⑮ しんごう
- ⑯ 恋愛する
- ⑰ きねんび
- ⑱ 自信

練習2 \_\_\_\_\_ のところをひらがなで書きましょう。

- ① 迷信はあまり信じません。  
A \_\_\_\_\_ B \_\_\_\_\_
- ② 愛情のこもった贈り物をいただいた。
- ③ 仕事が終わらず、残業しなければならなくなった。
- ④ ドライブ中に道に迷ってしまった。
- ⑤ 恋する女性は美しい。
- ⑥ 田中さんは部下からとても信頼されている。
- ⑦ オリンピックを記念してメダルが作られた。
- ⑧ 初恋は小学校の時でした。
- ⑨ 今年も残暑が厳しいですね。
- ⑩ 夜中の間違い電話は本当に迷惑だ。
- ⑪ 日本人は特定の宗教を信仰していないとよく言われる。
- ⑫ 心から愛している人がいますか。

①	.....
A	.....
①	.....
B	.....
②	.....
③	.....
④	.....
⑤	.....
⑥	.....
⑦	.....
⑧	.....
⑨	.....
⑩	.....
⑪	.....
⑫	.....

練習3 \_\_\_\_\_ のところを漢字で書きましょう。

- ① 台風が近付いているので、一人のこらず帰っていった。
- ② 難しい試験に合格して、じしんがついた。
- ③ 今日が私たちの結婚きねんびです。
- ④ こいびとにクリスマスのプレゼントをあげました。
- ⑤ つうしん教育で勉強して、大学を卒業しました。
- ⑥ 今、れんあいしています。
- ⑦ どちらを買おうか、まよってしまう。
- ⑧ 会社にとって、しんようはとても大切です。
- ⑨ 夏休みものこり少なくなってきた。
- ⑩ あいじょうをたっぷり注げば、その分、子供は成長する。
- ⑪ 私の言うことをしんじてください。
- ⑫ 今度の旅行に参加できないので、ざんねんです。

①	.....
②	.....
③	記
④	.....
⑤	.....
⑥	.....
⑦	.....
⑧	.....
⑨	.....
⑩	..... 情
⑪	.....
⑫	.....

1章 性格・感情 IV 感情③

**1** 感 カン  
 かく 13画

感	感				
---	---	--	--	--	--

かんかく かん かん かんしゃ かんじょう  
 感覚 感じ 感じる / ずる 感謝-する 感情  
 かんそう かんどう かん かんげき  
 感想 感動-する …感\* 感激-する\*  
 かんしん じっかん  
 感心-する / な\* 実感-する\*

**2** 満 マン  
 かく 12画

満	満				
---	---	--	--	--	--

まんいん まんでん ふまん まんぞく  
 満員 満点 不満-な\* 満足-する / な\*  
 み みまん まんげつ み  
 満ちる\* 未満\* 満月\* 満たす\*  
 えんまん まんじょう  
 円満-な\* 満場\*

**3** 欲 ヨク  
 かく 11画

欲	欲				
---	---	--	--	--	--

ほ ほ しょくよく よくば  
 欲しい 欲しがる 食欲\* 欲張り-な\*  
 いよく よく よくぼう よくぶか ほっ  
 意欲\* 欲\* 欲望\* 欲深い\* 欲する\*

**4** 願 ガン  
 かく 19画

願	願				
---	---	--	--	--	--

ねが ねが ねが がんしょ ねが  
 願います お願い-する 願書 願う  
 ねが  
 願い\*

**5** 努 ド  
 かく 7画

努	努				
---	---	--	--	--	--

どりよく つと つと  
 努力-する 努める\* 努めて\*

**6** 困 コン  
 かく 7画

困	困				
---	---	--	--	--	--

こま こま-る  
 困る 困難-する / な\*

**練習1** 漢字をひらがなで、ひらがなを漢字で書きましょう。

① ほしい	① .....
② 不満	② .....
③ よく	③ .....
④ どりよく	④ .....
⑤ おねがい	⑤ .....
⑥ こまる	⑥ .....
⑦ かんそう	⑦ ..... 想
⑧ 困難 <small>なん</small> な	⑧ .....
⑨ 願書	⑨ .....

⑩ 満員	⑩ .....
⑪ 努める	⑪ .....
⑫ 感じる	⑫ .....
⑬ 食欲	⑬ .....
⑭ かんじょう	⑭ ..... 情
⑮ 願い	⑮ .....
⑯ まんぞくな	⑯ .....
⑰ 感謝 <small>しゃ</small> する	⑰ .....
⑱ 満ちる	⑱ .....

練習2 \_\_\_\_\_ のところをひらがなで書きましょう。

- ① 心の中で願い事をする。
- ② 彼女はかのじよ努力家である。
- ③ テストではじめて満点がとれて、とてもうれしかった。
- ④ 寒すぎて手のかくしな感覚が失われた。
- ⑤ ば欲張ってまんじゅうもケーキも食べてしまった。
- ⑥ てき感動的な映画を見ると、なみだ涙が出る。
- ⑦ 今朝、バスに乗ろうとしたら満員で乗れなかった。
- ⑧ デパートに行ったら欲しいものがたくさんあって、  
A 困ってしまった。  
B
- ⑨ 願書の提出は今月20日までです。
- ⑩ 小さいのにしっかりしていて、感心な子だ。
- ⑪ 彼女の口から出るのは、会社の不満ばかりだ。

①	.....
②	.....
③	.....
④	.....
⑤	.....
⑥	.....
⑦	.....
⑧	.....
A	.....
⑧	.....
B	.....
⑨	.....
⑩	.....
⑪	.....

練習3 \_\_\_\_\_ のところを漢字で書きましょう。

- ① すばらしい芸術は人々をかんどうさせる。
- ② 120cm みまんのお子様は乗ることができません。
- ③ おもちゃをほしがって、こども子供は大きな声で泣き出した。
- ④ あなたの成功をねがっていますよ。
- ⑤ どりよくは人を裏切らない。
- ⑥ 様々なこんなんに立ち向かう。
- ⑦ しょくよくの秋。秋はおいしい食べ物の季節だ。
- ⑧ 月がみちて、そして三日月になる。
- ⑨ 彼は節約しようというかんかくがまったくない。
- ⑩ 娘は父親に遊んでもらえないので、ふまんなようだ。
- ⑪ どうぞ、よろしくおねがいたします。
- ⑫ 体が軽くなって、ダイエットの成果をじっかんした。

①	.....
②	未
③	.....
④	.....
⑤	.....
⑥	..... 難
⑦	.....
⑧	.....
⑨	..... 覚
⑩	.....
⑪	.....
⑫	..... 実

# テスト 1

## 問題 1 \_\_\_\_\_ のところをひらがなで書きましょう。

- ① 女性的な てき うつく 美しさは 内面 ないめん から出てくるものだと思う。
- ② 笑顔 えんご のかわいい女の子だ。
- ③ 失恋 しつ してしまい、とても ④ 悲しい かなしい。
- サークスで、不思議な ⑤ 格好 こうごう をして登場するのがピエロです。
- 負けたチームが ⑥ 泣いて なみだ いるのを見て、私も涙が出た。
- 受験の ⑦ 願書 がんしょ には 顔写真 げんしん ひつよう が必要です。
- 子供を ⑧ 愛して あい いない親はいない。
- 試合には 勝 か ったが、⑨ 満足 まんじつ な結果とは言えない。
- 私の 祖母 そぼ はとても ⑩ 優しい やさしい 人です。
- 食事は ⑪ 残さず のこさず、きれいに食べましょう。
- 読んだら、本の ⑫ 感想 こうさう を聞かせてください。
- ダイエット中だが、⑬ 食欲 しょくよく に負けて、甘いケーキを食べてしまった。
- 先生に注意されて、やっと教室が ⑭ 静か しずか になった。
- 韓国の料理は ⑮ 辛い からい ものが多い。
- 旅行の ⑯ 記念 きんねん に家族と 写真 しつしん を撮った。
- ゴミ拾いをすると、⑰ 感心 かんしん な子だ。
- 毎晩 ピアノ まいばん の 練習 れんしゅう をしていたら、近所から ⑱ 苦情 くじょう が出た。

①	⑦	⑬
②	⑧	⑭
③	⑨	⑮
④	⑩	⑯
⑤	⑪	⑰
⑥	⑫	⑱

問題2 \_\_\_\_\_ のところを漢字で書きましょう。

- 大学でどんなことを勉強しようか、① まよっています。
- ② こんなな問題を抱えている。
- ③ あかしんごうでは必ず止まらなければいけません。
- ④ くつうに耐えて病気と戦っている。
- 試験の結果が⑤ しんぱいで、夜も寝られない。
- ワンさんはやさしい⑥ せいかくだ。
- 両親に⑦ かんしゃの気持ちを持つ。
- 電気の⑧ せいしつを使って実験をする。
- 海水はとても⑨ しおからい。
- キムさんは⑩ えがおがすてきな人だ。
- 神様を⑪ しんじてお祈りをする。
- 人それぞれ、物の⑫ かんじかたは違います。
- 毎日、⑬ まんいん電車で通勤しています。
- 私の祖父母は⑭ れんあい結婚でした。
- 何かに⑮ くるしめられている夢を見た気がする。
- あまり深く⑯ なやむことはないと思う。
- 叔父は若い頃⑰ くろうしたが、今は幸せに暮らしている。
- あなたは実力があるのだから、もっと⑱ じしんを持ったほうがいい。

①	⑦	謝	⑬
②	⑧	質	⑭
③	⑨	塩	⑮
④	⑩		⑯
⑤	⑪		⑰
⑥	⑫		⑱
			労